

みやざき No. 277

〒880-0303
宮崎市佐土原町東上那珂16500-2
TEL : 0985-74-3850
FAX : 0985-74-3950
http://www.mepo.or.jp

令和7年度2号
令和8年3月3日発行

機構トピックス

令和7年度「宮崎中小企業大賞」に株式会社池上鉄工所と株式会社SUNAO製薬が選ばれました!

県内産業の振興や地域経済の活性化に寄与した企業を県が表彰する令和7年度「宮崎中小企業大賞」に、当機構が支援している株式会社池上鉄工所と株式会社SUNAO製薬が選ばれ、令和7年11月7日（金）、県庁本館の知事会議室において表彰式が行われました。



株式会社池上鉄工所 松田拓也社長



株式会社SUNAO製薬 矢上昭浩エキスパート



○表彰理由

＜オンリーワンの視点＞

・社員の「全国溶接技術競技会」の上位入賞を筆頭に、鉄工業で全国トップクラスの技術力

＜地域経済への波及効果＞

・顧客ニーズと誠実に向き合いながら地域の企業を支えており、地域経済の活性化に貢献
・溶接アートをSNSに投稿するなど、従来の「鉄工所」のイメージを覆す情報発信を続け、地元就職を希望する高校生等を積極的に採用



○表彰理由

＜新技術・新分野進出の視点＞

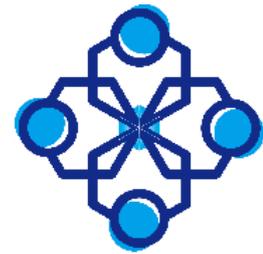
・新商品を絶え間なく開発・販売し、ヒット商品を創出

＜地域経済への波及効果＞

・五ヶ瀬町の茶葉や本県産の日向夏ミカン、椎葉村の蜂蜜等県内農産物等地域資源を活用した商品を開発。宮崎の素材の可能性を追求
・売上高の95%以上が県外からであり、また、一部人気商品は中国等海外へ売り出しているなど、外貨獲得に貢献



「付加価値向上チャレンジ企業」を新たに3社選定!



宮崎県
付加価値向上チャレンジ企業

◀第2回付加価値向上チャレンジ企業選定証交付式
(令和7年12月22日)
於：宮崎県庁本館講堂
選定証を持つ中央の3名が選定企業代表者
(左から創宮(株)取締役専務 仙臺 暁士氏、
(株)教育情報サービス 代表取締役 荻野 紗由理氏、
KIGURUMI.BIZ(株) 代表取締役 加納 ひろみ氏)

人的資本経営を推進するとともに、企業と従業員の所得向上を図る成長戦略を実践していくことにより、宮崎県経済をけん引する企業として期待される「付加価値向上チャレンジ企業」を伴走支援する事業を、県からの委託を受け実施しています。

7月に支援対象企業として選定された6社に加え、今回新たに、株式会社教育情報サービス、創宮株式会社、KIGURUMI.BIZ株式会社の3社が県から選定され、12月22日に県庁講堂にて、佐藤弘之副知事より各企業の代表者へ選定証が交付されました。

選定企業に対しては、中小企業診断士や公認会計士の資格を有する「プロジェクトマネージャー」で構成する支援チームが、ヒアリング等による課題の抽出・整理等を行い、付加価値向上のためのオーダーメイド型の支援計画の立案及び課題解決に係る伴走支援を行っていきます。

付加価値向上チャレンジ企業一覧

(五十音順)

選定年度	企業名	代表者名	業種	所在地
令和7年度 (第1回)	株式会社 井崎製作所	井崎 廣幸	金属製品製造業	新富町
	株式会社 英楽	池田 英勝	食料品製造業	門川町
	有限会社 四位農園	四位 廣文	農業	小林市
	株式会社 塩川産業	塩川 聖一	廃棄物処理業	宮崎市
	ヤマエ食品工業 株式会社	江夏 啓人	食料品製造業	都城市
	株式会社 SUNAO製菓	廣澤 直也	その他の卸売業	宮崎市
令和7年度 (第2回)	株式会社 教育情報サービス	荻野 紗由理	情報サービス業	宮崎市
	創宮 株式会社	仙臺 真理	れんが製造業 建設業	都城市
	KIGURUMI.BIZ 株式会社	加納 ひろみ	その他の製造業	宮崎市

みやざきLFP（ローカルフードプロジェクト）で みやざきLFP強化支援事業 開発された商品を紹介!!

みやざきLFPは、農林漁業者や加工・販売業者など多様な関係者が連携し、それぞれの強みを発揮しながら「宮崎の食資源を活用した新ビジネスを創出」する取組で、ステーションはその事務局を担っています。みやざきLFPのプロジェクトで開発された商品を紹介します。

西米良柚子(ゆず)の香りを生かした 『柚子ゼリー』 & 『柚子サンドクッキー』

(株)ゴローズ・プロダクツ（お菓子のゴローズ）

〒880-0841 宮崎市吉村町北原甲1435-11 電話：0985-23-5622



柚子ゼリー

大自然と気温の寒暖差に恵まれた西米良村で農家の方がひとつひとつ大切に育てた色鮮やかで香り豊かな柚子を使って開発した商品です。

『柚子ゼリー』は香りを最大限に生かし、爽やかな柚子の風味を封じ込めました。控えめな甘さと微かな酸味が、さっぱりとした口当たりを生みました。冷凍してシャーベットとして楽しむこともできます。

『柚子サンドクッキー』も甘さ控えめのガナッシュサンドクッキーです。クッキー生地とホワイトチョコのガナッシュに柚子の粉末をふんだんに混ぜ込み、食べた瞬間、柚子の香りが想像以上に口に広がります。柚子の苦味をアクセントに加え大人向けのクッキーに仕上げました。

西米良村産柚子の魅力がいっぱい詰まったお菓子です。ぜひ一度御賞味ください。

（工場長：黒木 男）

西米良村産柚子の魅力発信を目指すLFPプロジェクトに共感して誕生した商品です。原材料紹介から試食会の実施、販路マッチングまで約1年間に渡り支援しました。

（担当コーディネーター：大角 泰代）



柚子サンドクッキー



みやざきLFPホームページ

お問い合わせ先

みやざきフードビジネス相談ステーション 電話：0985-89-4452 E-mail:food@mepo.or.jp

脱炭素の取り組みを推進するモデル企業を育成!

株式会社山洋製作所

〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島18964-1
電話：0985-73-3443

当機構では、脱炭素の取り組みを促進する県内製造業者を「脱炭素推進モデル企業」として選定し、連携協定を締結しているリコージャパン株式会社宮崎支社と協働して、エネルギー使用に係る現状把握から削減計画の策定、計画に基づく具体的な取り組みまでを伴走支援することにより、見本となるロールモデル企業の創出を目指しています。そのモデル企業の中から、今回は、株式会社山洋製作所の取り組みをご紹介します。

当社は、精密な加工技術を強みに自動車用電装部品（ワイヤーハーネス）を製造しています。また、顧客ニーズに迅速かつ柔軟に対応するため、ハーネス切断から加工（接点カシメ・半田付け・組立）・検査・出荷までの一貫生産システムを確立し、少量多品種・短納期にも対応しています。

伴走支援では、照明照度の適正化など省エネ診断を通じた改善施策案の提示のほか、令和7年9月に社員のGXに対するさらなる意識向上を目的として、カードゲームを用いた研修（2050カーボンニュートラル）を開催しました。研修では、参加者が住宅メーカー、電力会社、自動車メーカー、環境NPO、金融機関や政府などの立場に分かれ、それぞれの目標に対して経済活動などを行い、その結果、地球環境にどのような影響を与えたか可視化されます。自分達が行ってきた様々な活動が環境にどのような影響を与えているかを疑似体験でき、自分の価値観や考え方に気づき、行動変容が促されるというシミュレーションゲームです。参加者からは、「ビジネスと環境を両立させることの難しさが分かった。当社の一員として、無駄をなくすことから取り組みたい。」といった非常に前向きな感想がありました。

引き続き、支援チームが一体となって、伴走支援していきます。

当社では、環境配慮経営の一貫として環境マネジメントシステムを取得するなど、環境負荷低減活動に積極的に取り組んでいます。今回の「体験する」研修を通して、社員のGXに対する意識がさらに高まったと感じています。

常務取締役 山田 公次



▲4輪車用ワイヤーハーネス



▲電装部品を高品質・高精度に組み立てる



▲研修の様子

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
企業成長促進室
電話：0985-77-5563

“夢あるものづくりを目指して” 計画的な人材育成に取り組むことで更なる成長を目指す!

株式会社井崎製作所

〒889-1403 新富町大字上富田3215
電話：0983-33-2792



▲会社全景



▲工場内部

株式会社井崎製作所は、1970年の創業以来、短納期、提案力、一貫生産を武器に、産業機械・建設・食品・農畜産業など様々な業種の幅広い産業製品の部品から装置一式まで受注生産できる企業として成長し、ISO認証も取得するなど、製品・サービスの安全性や品質の確保、労働環境の向上にも努めています。昨年7月、県の付加価値向上チャレンジ企業に選定された同社では、更なる成長を目指すため人材育成に積極的に取り組むことにしています。

当機構では、人手不足時代の企業成長には生産性の向上が不可欠と考え、その有効な手段である人材育成の支援に力を入れるため、今年度から企業成長促進室に産業人材育成コーディネーターを設置しました。同コーディネーターは、人材育成に関する多様な相談に応じ、課題解決に効果的な国・県等の支援策や社員研修メニューの紹介等を行っています。

井崎製作所に対して、昨年9月から産業人材育成コーディネーターが同社を訪問するなど、経営目標と連動した人材育成計画の策定に向けた伴走支援を行っています。

付加価値向上チャレンジ企業として選定され、支援を受ける中、改めて人材育成の重要性を実感しています。自社だけでは気づけなかった視点や、県の支援策の紹介など、多角的なサポートをいただき大変心強いです。

今後も一貫生産の強みを活かし、地域産業に貢献してまいります。

取締役社長 井崎貴盛



▲人材育成計画の策定協議



長友健彦

産業人材育成コーディネーター
(中小企業診断士)

東京のコンサルタント企業で人材育成施策の企画・教材開発、人事制度の導入支援、M&Aの仲介等に従事してきました。

製造業に従事する中小企業の皆さん、人材育成に関してご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
企業成長促進室
電話：0985-77-5563

抹茶事業への新規参入！ 海外輸出に関する知見習得を図るため専門家派遣を実施！

有限会社四位農園

〒886-0213 小林市野尻町三ヶ野山3028番地
電話：0984-44-0109



▲工場外観



▲露地野菜の収穫の様子

令和7年度に付加価値向上チャレンジ企業に選定された有限会社四位農園は、「私たちは誠実に考え、誠実に行動し、人々の幸せに貢献する。」を企業理念とし、約500haの広大な農地でほうれん草や枝豆などの業務加工用露地野菜の栽培から自社冷凍工場における加工・販売までの一貫体制構築に加え、抹茶の原料である有機碾茶の栽培・加工を行っています。

同社では、有機碾茶を最終製品である抹茶に加工する設備体制も整っており、海外バイヤーからの需要が増加し始めたことから、海外ビジネスに精通されている(株)MKJグローバルワークス 代表取締役社長 上田 泰弘氏を招き、輸出を行う上での基本的な考え方から貿易条件確認の重要性、信用調査の手法、物流手段、契約締結時の留意点など実務面を含んだ専門家派遣を計5回実施しました。

抹茶は世界的に需要が拡大しています。同社が抹茶事業に挑戦することで「四位農園」ブランドを確立し、さらなる収益性向上が期待されます。

抹茶の海外需要の高まりを感じつつも、輸出ノウハウがなく足踏みしていました。本事業を通じ、基礎知識から実務までを体系的かつ丁寧に学ぶことができ、大変有意義でした。得られた知見を糧に、自信を持って世界への挑戦を進めてまいります。

代表取締役社長 四位廣文



▲世界的に需要が拡大している抹茶



▲専門家派遣の様子

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
企業成長促進室
電話：0985-77-5563

ものづくり取引拡大商談会で新たな取引先を開拓!

株式会社 修電舎

住所：〒882-0024 延岡市大武町39-122
電話：0982-21-1831



11月20日と21日の2日間、MRTミックで、ものづくり取引拡大商談会を開催しました。

この商談会は、県外の発注企業と県内の受注企業が一堂に会して商談を行い、取引拡大を図る目的で毎年実施しています。

今回は、過去最多の23社の発注企業と58社の受注企業が参加して258の商談が行われました。

また、今回はコロナ禍以降初めて交流会を行い、発注企業と受注企業の親交を深める場となりました。

そのような中、社内で一貫生産可能な制御盤製造をはじめとして、精密板金加工、電気計装工事、環境機器事業を手がけている延岡市にある(株)修電舎は、新たな取引先開拓に向けて積極的に商談を進めていました。

当機構では、今後も商談会の開催をはじめとして個別面談、展示会等を通じて取引あっせん活動を行い、本県のものづくり企業を支援していきます。



▲ 修電舎の商談の様子

商談会を通じ県外の発注企業と面談させていただける良い機会であり、また県内企業との情報交換などにも役立っております。

今後も商談会を通じ、新たな取引先の新規開拓につなげていければと考えております。

(株)修電舎
板金加工部営業係長 三原洋平

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構 産業振興課
電話：0985-74-3850

廃業危機から一転 店舗の好立地活用で安定収益を確保

担当：新田裕章コーディネーター

株式会社かなや



事業所外観

COは事業の「選択と集中」が不可避であると判断し、ビジネスホテルの収益改善として、コストアップ要因だった朝食サービスの廃止、競合調査を踏まえた宿泊料金の値上げ、不採算の衣料品店の事業縮小と固定資産の有効活用を提案しました。

提案を踏まえ、宿泊料金の値上げや、朝食サービスの廃止、売場を縮小して空いたスペースのテナント貸しを決定し、経営改善に取り組みました。

その後、地方銀行の支店や、ホテル2階へカフェの出店依頼があり、賃料収入と朝食提供の外注化で収益と顧客満足を両立することができ、衣料品店も陳列の集約で顧客からの好評も得て売上は横ばいを維持しています。結果、会社全体の収益性が改善し、税金等の滞納返済も進み、経常利益は増加傾向にあります。



ホテル2階に入ったカフェ

〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町三田井8-0
<https://businesshotel-kanaya.com/>

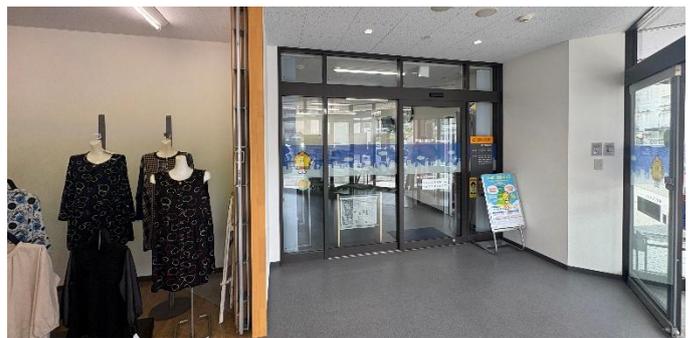
売上は年々減少傾向で、経常損失を計上する年もある一方、借入金は年間売上の倍程度まで膨らみ、さらに消費税や社会保険の滞納も発生。資金繰りが悪化し、経営者夫婦も高齢なことから、事業継続か、廃業か悩んでおり、まずは現状を整理し継続の可否を判断するため、当拠点へ相談に訪れました。

COが財務状況を分析したところ、過大な借入金と税金・社会保険料の滞納が資金繰りを圧迫していました。事業別では、ビジネスホテルは安定収益源である一方、衣料品店は顧客減少により不採算で、今後の回復も期待しにくいことから、経営者夫婦の高齢化も踏まえ、ホテル事業への集中と、衣料品事業の縮小・撤退の判断が最大の課題となりました。



▲衣料品店

▼テナントで入った地方銀行の支店



高齢で事業を継続するかどうか悩んでいましたが、施設の一部を貸し出すことで固定収入が生まれ、無駄も減り、滞っていた返済が進んでいます。社会保険と消費税滞納ももうすぐ完済するため、借入金返済にも余裕が生まれそうです。今後は、親族内もしくは第三者への事業承継も検討していきたいと考えています。

代表者 小手川 慎子

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
経営情報課
電話：0985-74-3850

中小企業庁が設置している無料の経営相談所

宮崎県
よろず
支援拠点

WEB予約はこちら
<https://yorozu-miyazaki.go.jp/>

相談予約はこちら 0985-74-0786

宮崎 よろず

産学官の共同研究を推進します!! ～「みやざきイノベーションマッチングフォーラム」開催～



先進的な取り組み事例の紹介や、県内大学等が保有する研究シーズの発表を通じて、新たな共同研究グループを創出することを目的に「みやざきイノベーション・マッチングフォーラム」を開催しました。

事例紹介では、美郷町政策推進室の甲斐範浩氏が登壇。「幻の日本酒『いすゞ美人』復活への取組」をテーマに、地域活性化を目指して立ち上げたプロジェクトの歩みや、宮崎県食品開発センター、宮崎県農業試験場、千徳酒造といった多様な機関との連携による復活エピソードを語っていただきました。

続く研究シーズの紹介では、南九州大学の長田教授から「炭酸ガス充填不要な炭酸ガス含有食品の製造方法」について、宮崎大学の横山助教からは「食べることで腸が変わる—腸内細菌叢へのアプローチで創る新しい食品価値—」と題した発表が行われました。

また、発表以外にも、県内中小企業と大学等を繋ぐ「個別面談会」や、国等の支援制度を紹介する「研究開発等支援制度説明会」を併せて実施いたしました。

当機構は、基本理念である「みやざきの次代を担う企業を支援」の実現に向け、より多くの企業が研究開発に挑戦できるよう、今後もこうした産学官連携の場を積極的に提供してまいります。

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
新事業支援課
電話：0985-74-3850

地域資源を活用した付加価値創出に 取り組む事業者を支援しています!

地域資源活用・地域連携サポート事業は、6次産業化など地域資源を活用した付加価値創出に取り組む農林漁業者等の事業計画実現に向け、課題に応じた各種専門家（プランナー）派遣による伴走支援を行う事業で、ステーションは地域サポートセンターの役割を担っています。

令和7年度の支援対象13事業者の中から2事業者を紹介します。

地域の食材を提供する漁協食堂「とのうら」オープン!

外浦漁業協同組合 〒889-3213 日南市南郷町湯上134番地54

当漁協においては、令和5年に観光船「マリビューワー日南」の運航を民間事業者から引き継ぐのに合わせ、休止していた待合所2階のレストランを再開することとしました。

サポート事業におけるプランナーは、都道府県単位で登録・派遣される地域プランナーと中央サポートセンターに登録されて全国に派遣される専門性の高い中央プランナー及びエグゼクティブプランナーがいます。

当漁協については中央プランナー及びエグゼクティブプランナーを派遣してレストランのメニューや運営方法などに対する支援を行い、この3月1日（日）に漁協食堂「とのうら」がグランドオープンしました。

漁協食堂「とのうら」では地元で水揚げされた食材を使用したメニューを提供して集客に努め、地域の振興に貢献することを目指しています。

マリビューワー日南



漁協食堂
「とのうら」



伝統の味を守りながら、新しい技術でさらに美味しい海産物を目指す!

(株)モンド 〒887-0023 日南市大字隈谷甲2198番地

当社は、令和5年に地元の伝統商品を製造する水産加工施設を承継しましたが、それまで水産加工品の製造・販売実績はありませんでした。

このため、商品開発と販路開拓を担当するプランナー及び衛生管理と品質管理を担当するプランナーを派遣して支援を行いました。

支援を受けて、当社は昨年10月に県内で開催された商談会に出展し、伝統の味の商品とともに新しく開発した商品をバイヤーにPRしました。

今後、加工施設を更新して生産量を増やし、さらに地元の漁業を盛り上げていくこととしています。



伝統の味「なまぶし」



新商品「しっとり柔らかか煮」

お問い合わせ先

みやざきフードビジネス相談ステーション 電話：0985-89-4452 E-mail：food@mepo.or.jp

貴社の **人 材 育 成** をお手伝いします



県内のモノづくり企業が、目まぐるしく変化する経済環境や深刻化する人手不足などに対応していくためには、人材の育成に重点を置いた対策が不可欠です。

宮崎県産業振興機構では、人材育成の専門家である『産業人材育成コーディネーター』を配置し、人材育成をお手伝いします。

ぜひ、ご相談下さい。

【支援対象】

製造業を営む中小企業（県内に本店を有すること）

【主な支援】

1) 人材育成の課題整理

課題を抽出・分析し、解決に効果的な国・県等の支援メニューをご紹介します。

2) 効果的な研修等をナビゲート

課題や目的に応じて、効果的な社員研修・技術訓練を紹介します。

＜紹介先の例＞中小企業大学校人吉校、高度ポリテクセンター（千葉市）

福岡半導体リスキリングセンター（福岡市）

九州職業能力開発大学校等（北九州市）等

3) 人材育成計画の策定・見直しをサポート

社員研修や技術訓練を計画的に進めるための人材育成計画の策定や見直しに対して助言・指導を行います。

特典 当機構の支援により策定や見直しを行った人材育成計画に基づき、受講・開催した研修経費の一部を助成します。

4) インターンシップ受入れやプログラム作成をサポート

インターンシップ受入れを考えている企業に、受入れ事例などの情報提供やプログラム作成への助言・指導を行います。

5) 研修・セミナーの開催

企業のニーズを踏まえた人材育成・確保に関する研修・セミナーを企画し、開催します。

詳細については、お問い合わせ下さい。

問合せ先

公益財団法人 宮崎県産業振興機構 企業成長促進室 担当：古川・林
〒880-0811
宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンスフィア壱番館（KITEN）3F
TEL0985-77-5563

設備導入に関する融資制度「みやざき設備資金貸付事業」

小規模企業者等の皆様が、経営基盤の強化を図るため、必要な設備を購入される場合、その設備導入資金の一部(1/2以内)について無利子で融資を行っています。(貸付審査会による審査があります。)

なお、貸付申請者には、御希望に応じてよろず支援拠点のコーディネーターが随時助言を行いながら、経営基盤の強化を支援します。



申請対象	県内の小規模企業者等（常用従業員数50名以下）
対象設備	経営基盤強化のために必要な設備（土地・建物は対象外）
償還期間	3年以上7年以内（元金据置は最長6ヶ月）
貸付額	50万円～2,500万円 「フードビジネス」「メディカル」「自動車」「成長期待企業等」で、一定の条件を満たした場合、上限が3,000万円となります。

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
産業振興課
電話：0985-74-3850



中小企業・個人事業主・フリーランスの皆さん！

取引上の悩みを抱えていませんか



- 支払期日を過ぎても代金を支払ってもらえない
- 追加の工事・加工をしたのにその分の代金を支払ってもらえない
- 労務費や原材料費が上昇しているのに単価の引き上げにに応じてもらえない
- 一方的に単価の引き下げを求められている
- 書面での発注をお願いしているがに応じてもらえないetc

取引かけこみ寺 に相談してみてもいいかもしれません。

相手方との交渉や代金回収の方法などについて知ること、
悩みやトラブルが解決できる場合があります。



「取引かけこみ寺」は、受託取引の適正化の推進を目的に、中小企業庁が全国48か所に設置した相談窓口で、本県は宮崎県産業振興機構に設置されています。

あなたの相談には専任の相談員が応じます。なお、受託取引に限らず、一般の商取引に関する困り事等の相談にも応じます。

悩む前に一度相談してみませんか。

相談のながれ

- 1) 相談専用フリーダイヤルやメールでお問い合わせください。専任の相談員が電話や面談でお話をお聴きし、取引上の問題点・課題等を整理して、必要な助言等を行います。
【相談対応可能日】月、火、木、金の午前9時から午後5時まで（ただし祝日等は除きます）
※相談員が不在の水曜日は、取引かけこみ寺本部（（公財）全国中小企業振興機関協会内）をご案内します。
- 2) 法律関係の整理が必要な場合や法手続きについて検討した方がよい場合には、相談者の希望により無料弁護士相談をご案内します。（ただし匿名での相談は受けられません。）
- 3) さらに調停による解決を希望される場合には、取引かけこみ寺本部が実施するADR（裁判外紛争解決手続き）をご案内します。

取引かけこみ寺にご相談ください！

相談専用フリーダイヤル
相談専用メールアドレス
所在地

0120-418-618
soudanmoushikomi@zenkyo.or.jp
宮崎市佐土原町東上那珂16500-2
（公財）宮崎県産業振興機構
☎ 0985-74-3850

宮崎県よろず支援拠点へどうぞ!

宮崎県よろず支援拠点は、国（中小企業庁）が設置した無料の経営相談所です。中小企業・小規模事業者の皆さんが抱える様々な経営の悩みに対応します。

よろず支援拠点ホームページでは、セミナーの開催お知らせやFacebookでの情報発信を行っています。ホームページから相談予約もできます。ぜひご覧ください。

電話でのご予約はこちら
受付時間 平日8:30~17:00
(12:00~13:00を除く)

☎ 0985-74-0786

生産性向上支援センターの設置について

令和8年度からは「生産性向上支援センター」が設置される予定です。足元の深刻な人手不足・労働供給制約下においても、中小企業・小規模事業者等が省力化等を通じて、生産性を向上させることを目的としています。

同センターでは、中小企業・小規模事業者等の生産性向上に向けて、様々な分野の専門家である生産性向上支援サポーターが複数回にわたって現場を訪問し、徹底した伴走支援を行います。

なお、詳細については、4月1日以降の当機構ホームページまたは宮崎県よろず支援拠点ホームページにて公開予定です。



よろずに行けば
なんとかなる!



相談予約はこちら はなして おな やみ むよう

☎ 0985-74-0786

WEB予約はこちら

<https://yoro-zu-miyazaki.go.jp/>

宮崎 よろず



公益財団法人
宮崎県産業振興機構
みやざき
フードビジネス
相談ステーション

食

に関するお悩み まるごと 解決



相談無料
事前予約制

オンライン
OK!

相談体制



事業計画
資金調達



商品開発
衛生管理



食品表示
デザイン



マッチング
販路開拓

専属コーディネーター

+

各種 専門家

+

支援機関

と

連携を図りながら課題解決に向けてサポートします

6次産業化に取り組む生産者の皆さま



地域資源活用・
地域連携
サポート事業

多種多様な専門業種との連携を求める事業者の皆さま



みやざきLFP
(ローカルフードプロジェクト)
強化支援事業

各種 専門家

- アドバイザー
- プランナー

関係支援機関

- 試験研究機関
- 大学

デザイナーズバンク

- 県内の登録デザイナー

相談の流れ

1

※要予約

電話・Webで予約

相談内容を簡単にお知らせ
ください。初回の相談日を調
整します。

2

面談又はオンライン

担当コーディネーターが、現状から
目標達成のための課題を導き出し
具体的なアドバイスを行います。

3

伴走支援

担当コーディネーターと共に、課題解決に向けた取り
組みを行っていきます。

ワンストップの相談窓口としてご活用ください

みやざきフードビジネス
相談ステーション

<https://food.mepo.or.jp/>



TEL 0985-89-4452

月曜日～金曜日 (8:30-17:15 / 12:00-13:00 及び祝日は除く)

* コーディネーター等には法令に基づく秘密保持義務が課されており相談内容が業務目的以外に使用されることはありません。

みやざきフードビジネス相談ステーション



充実のサポート内容

商品化への流れに応じて必要なアドバイスを行います

まずは、
ご予約ください
相談無料
事前予約
オンラインも
OK!

必要な
アドバイス

基本的な商品化への流れ			
①リサーチ	②企画・立案	③商品化	④生産・販売
調査方法	アイデア出し/商品開発 事業計画/資金調達	加工技術/衛生管理 食品表示/デザイン	マッチング/販路開拓
マーケットインの視点による商品化へ向けた基本的な考え方や、調査方法、具体的な取り組み方について助言。	販売戦略を踏まえた新商品開発や、新規事業に取り組むための事業計画の確認。資金調達先として国や県等の補助事業の紹介。	食品加工に取り組むための、一連の流れや衛生管理、食品表示、商品化へ向けたデザインの考え方。県内の委託可能な食品製造業者の紹介。	商品内容、生産量等の確認。商談会・求評会の紹介と商談に必要な書類や交渉の進め方について助言。

..... 相談会の開催や必要に応じた専門家の派遣も行っています

<h3>食品表示 相談会</h3> <p>毎月第三木曜日に食品表示無料相談会を開催しています。(要予約) 既存商品の表示見直しや、新商品の表示など、ご相談ください。</p>	<h3>企業訪問</h3> <p>担当コーディネーターが現場を確認しながら相談対応することも可能です。(対象:宮崎県内全域)</p>	<h3>専門家の派遣</h3> <p>各種相談内容に応じ、コーディネーターと共に専門アドバイザーを派遣します。</p>	<h3>デザイナーズバンク</h3> <p>宮崎県内のデザイン・印刷会社及び個人デザイナーの登録バンクがあります。希望される方への情報提供も行っています。</p>
--	--	---	---

当ステーションのHP、Facebook、メールマガジン（産業振興機構）

支援事例やセミナー、補助金公募案内などの情報を発信

ホームページ

フェイスブック

フードビジネス相談ステーション 検索

公益財団法人 宮崎県産業振興機構

みやざきフードビジネス相談ステーション

TEL 0985-89-4452 FAX 0985-89-4468

相談対応時間 月曜日～金曜日(9:00-17:00/12:00-13:00及び祝日は除く)

✉ food@mepo.or.jp

〒880-0811 宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンズピア壱番館(KITENビル)3F
(お越しの際は、最寄りの有料駐車場または公共交通機関をご利用ください)

* コーディネーター等には法令に基づく秘密保持義務が課されており相談内容が業務目的以外に使用されることはありません。

地域資源活用・地域連携サポートセンター
みやざきLFP事務局

